

カラコルム踏査隊事故

1980年8月6日

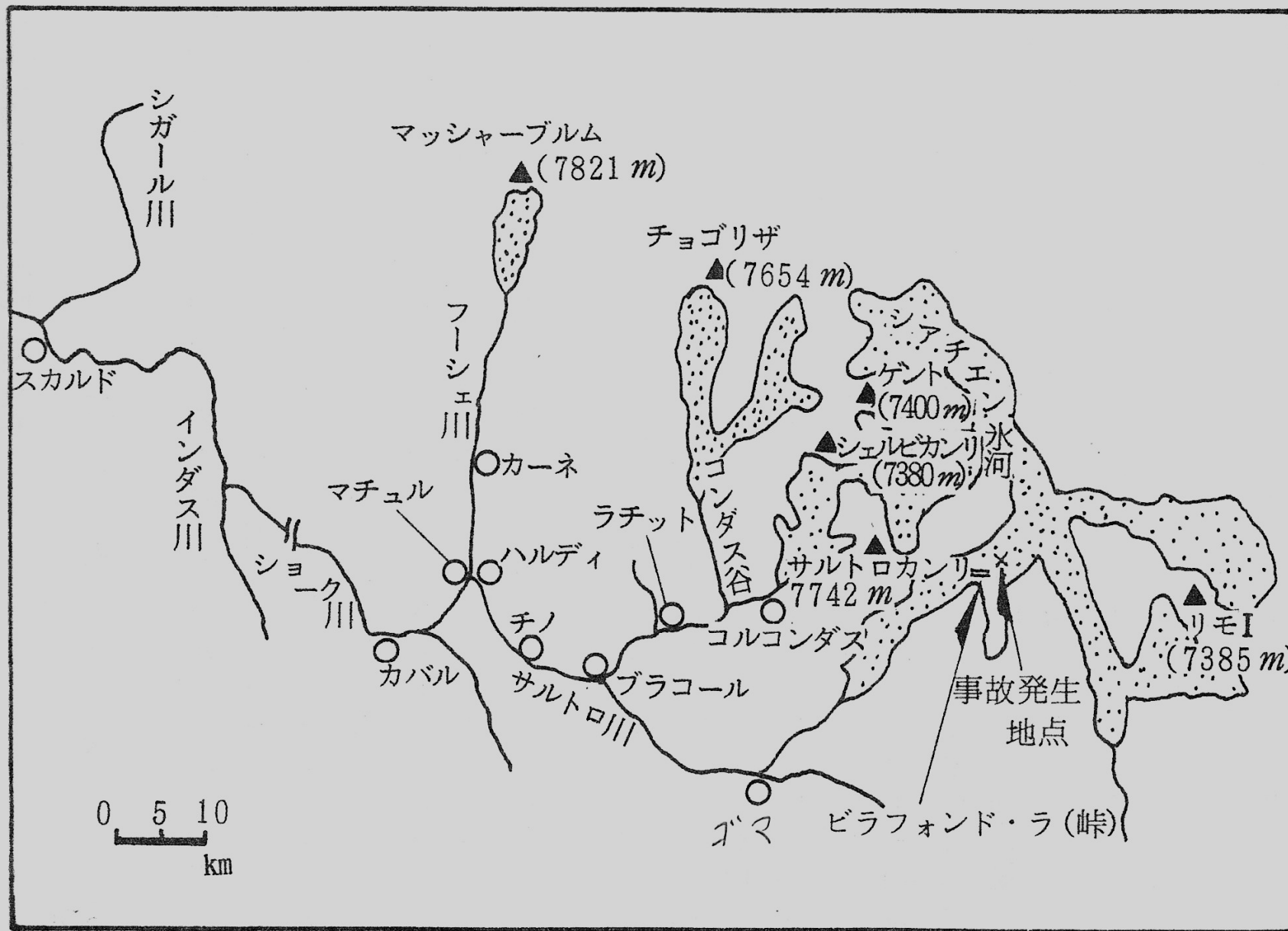
中川勝八郎

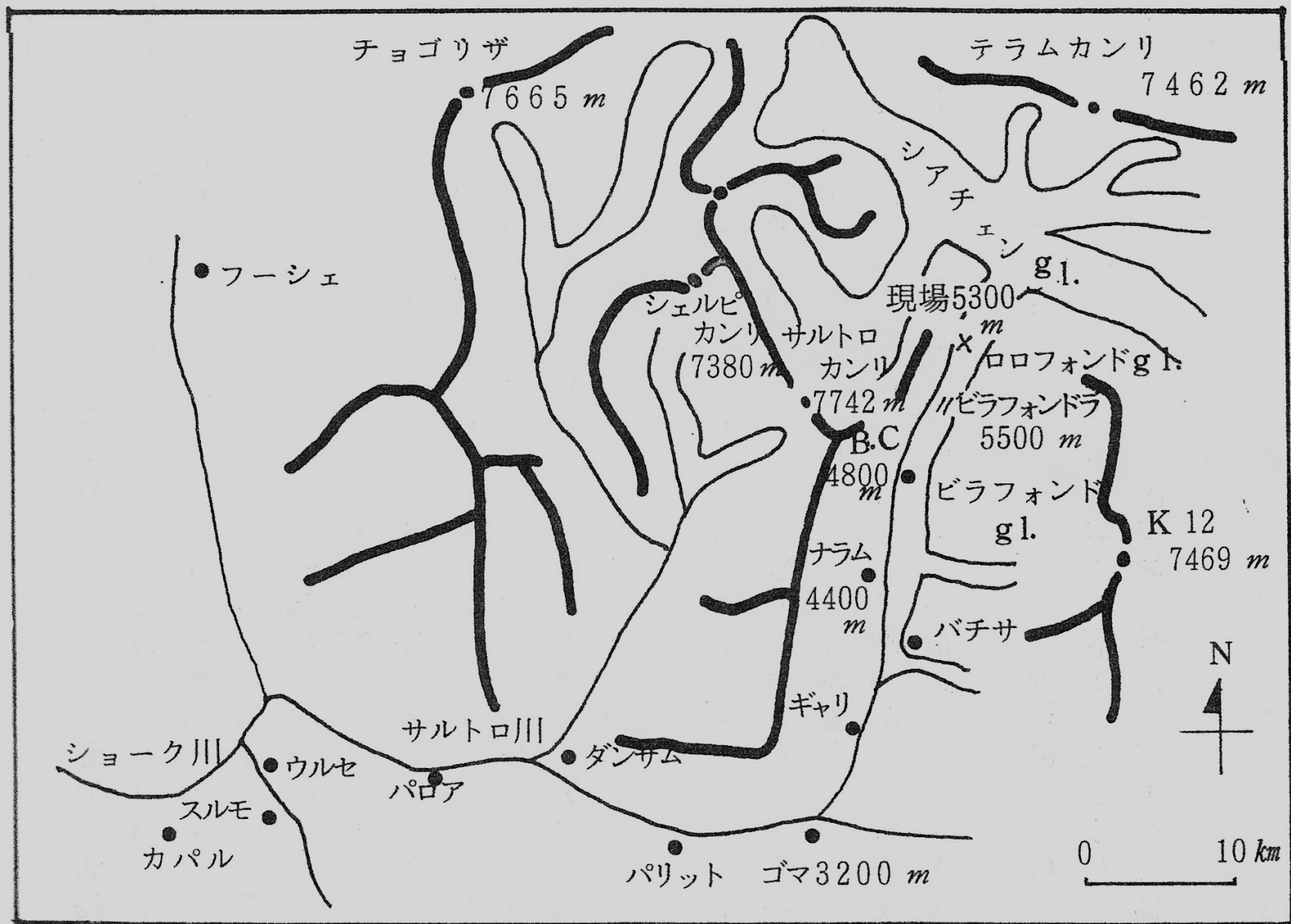
踏査隊計画

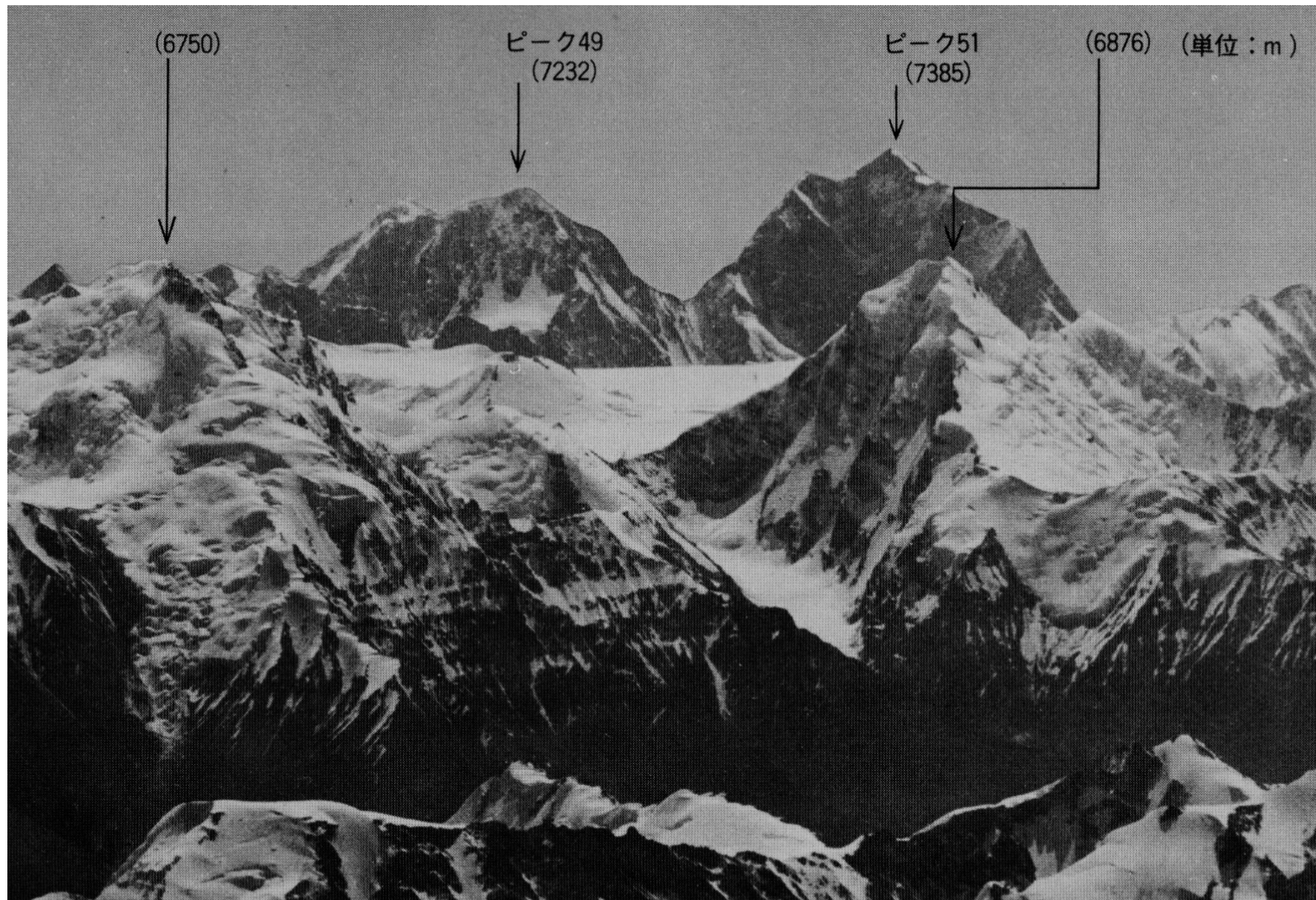
- 隊員 中川勝八郎(25) 神戸大学大学院生
右田 卓(25) 神戸市立桜宮小学校教諭
- ・ 目的 未踏峰リモ 峰(7385m) 登路偵察
登山許可の直接折衝

行動概要

- 7/21 日本発
- 7/26 カパル発(コック1、ポーター4)
- 8/3 ビラフォント氷河4800m B C 設営、ポーターを帰す
- 8/4 コックと3人でビラフォントラ5500mを往復(高度順化)
- 8/5 コックをメーランナーとして帰し、5300mまで
- 8/6 ビラフォントラを越えてロロフォント氷河へ
5300m付近で右田がヒドンクレバスへ転落、救出できず
- 8/11 中川 B C へ帰着
- 8/13 コックが B C へ戻ってくる
- 9/6 中川、日本帰国







シェルピカンリ頂上から望遠レンズで捉えたりモ(ピーク51)



キャラバン開始、ショーク河からダングラを越えてサルトロ河を上がる



ピラフォンド氷河舌端



氷河上を進む



ベースキャンプ付近よりピラフォンドラを望む



ピラフォンド氷河を登る



ピラフォンド氷河5300m付近T.S



ピラフォンド氷河上部よりベースキャンプ方向



ピラフォンド氷河上部



ピラフォンドラよりテラムカンリ、アプサラサス



ピラフォンドラ周辺



ロロフォンド氷河にむけて下る。テラムカンリの下にシアチェン氷河、テラムシェール氷河



ロロフォンド氷河よりピラフォンドラを振り返る



事故の前、ロロフォンド氷河を進む右田



事故現場



事故現場



デポ袋を目印に残して、事故現場を去る



日本ヒマラヤ協会インド合同隊、ノーステロン氷河からリモ 峰(右)と 峰(左)

1988年 日本ヒマラヤ協会・インド合同隊 リモ 峰登頂時ルート

